

総合病院国保旭中央病院で診療を受けられる患者さんへ

総合病院国保旭中央病院では、以下の研究を実施しております。

研究の対象になる可能性がある患者さんで、診療情報が研究目的で利用されることを望まれない方は、下記のお問い合わせ先にご連絡下さい。

1. 研究課題名

透析患者における胃内視鏡的粘膜下層剥離術の後出血に関する研究

2. 研究の対象患者

旭中央病院にて胃内視鏡的粘膜下層剥離術を施行し、施行時点で維持透析を行っている患者さん

3. 研究の対象期間

2009年1月1日～2017年12月31日

4. 研究の概要

近年、早期胃癌に対して内視鏡的粘膜下層剥離術（以下ESD）が普及してきている。外科切除に比べ低侵襲であるこれらの治療は、今後透析患者に対しても積極的に行われることが予想される。一方、透析患者は易出血性、組織の脆弱性、創傷治癒遅延などが基礎にあり、合併症発症のリスクが高いと考えられる。特に、ESD後の出血は、最も頻度の高い合併症であり、臨床において遭遇する機会も多い。これまでの先行研究では、血液透析はESDにおける後出血の独立したリスク因子とされているが、透析患者は抗血栓薬の内服率が高いため、透析そのものが後出血のリスク因子となり得るかは、明らかにされていない。そこで今回、透析患者（対照群）に対するESDの成績と、透析患者と抗血栓薬の内服による出血リスクを同等にした腎機能が正常な患者群（コントロール群）に対するESDの成績を比較し、透析患者に対するESDの後出血について検討する。

5. 研究実施予定期間

2018年3月21日～2018年3月31日

6. 研究に用いる試料・情報の種類

情報：研究対象者背景：患者識別コード、生年月日、年齢、性別、身長、体重、既往歴、合併症、抗血栓薬の処方歴

血液検査：Hb、eGFR

内視鏡所見：病変部位、肉眼形態、一括切除か、剥離時間、術中宮発症

病理学的所見：組織型、深達度、断端、脈管侵襲、UL、切除標本径

7. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保証に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出下さい。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

(連絡先) 地方独立行政法人 総合病院国保旭中央病院

- ・研究責任者：消化器内科 藤吉 祐輔
- ・臨床研究支援センター

電話：0479-63-8111(代)